一般社団法人
日本看護研究学会北海道地方会

地方会ニュース
第 40 号

一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会事務局
〒078-8510　旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号
旭川医科大学　医学部看護学科内

編集責任　　神成　陽子
E-mail h-chihoukai@asahikawa-med.ac.jp

2025 年 6 月 1 日　発行

会員の皆さまへ

北海道地方会会長　升田 由美子

会員の皆さまにおかれましては、新年度のあわただしい 4 月を経てゴールデンウィークも過ぎ、6 月を迎えたこの時期、ようやく一息つかれている方も多いかと思います。北海道では、今が一年の中でも最も爽やかで過ごしやすい季節です。芽吹いた木々の新緑の美しさに目を奪われる今日この頃、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

気候は穏やかになってまいりましたが、医療現場においては病院経営の困難により看護職によるストライキが報じられるなど、コロナ禍を経てもなお厳しい状況が続いています。教育現場においても、看護学校の定員未充足や、いわゆる Z 世代の学生への対応など、懸念すべき課題が山積しております。北海道は広大であり、都市部と地方では直面する問題も様々ですが、地方会での取り組みや学術集会を通して、皆さまと今後も意見交換を重ね、地域の保健・医療を支える一助となればと考えております。

昨年度の北海道地方会の活動といたしましては、2024 年 7 月 27 日に、北海道文教大学・高岡哲子学術集会長のもと「高齢者と共にささえあう地元創成における看護職の役割」をテーマに第 32 回学術集会が開催されました。一般の方々にもご参加いただくなど、開かれた学術集会となりました。運営にご尽力くださいました高岡学術集会長はじめ、関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

また、2025 年 3 月には、旭川医科大学・蒔田芳男教授による「大学教員は生成 AI とどのように向き合えばいいのか？～いまさら聞けない AI の進歩」と題した特別講演会をオンラインで開催いたしました。おかげ様で多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。大変有意義な講演会となりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

今年度は、2025 年 7 月 19 日に、市立札幌病院・長田千穂学術集会長のもと、「看護と介護のほとりに集う－臨床と教育・研究の融合－」をテーマに第 33 回学術集会が開催されます。昨年度に引き続き対面形式での開催となります。興味深いプログラムが企画されておりますので、多くの皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げております。また、今年度も学術集会に先立ち、「北海道地方会総会」を対面にて開催いたします。会員の皆さまにはぜひともご出席いただき、ご意見を賜れますと幸いです。

さらに、北海道地方会では、独自の取り組みとして、会員による学会誌掲載論文や学術集会発表の中から、看護実践への貢献度の高い研究に対して「研究奨励賞」を授与しております。今後とも皆さまからの積極的なご投稿・ご発表をお待ちしております。

末筆になりましたが、会員の皆さまのますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

令和 7 年度　一般社団法人　日本看護研究学会北海道地方会総会のご案内
および　第 33 回北海道地方会学術集会のご案内

【期　　日】　令和 7 年 7 月 19 日（土）

総　　会　　12：30～13：10（開場 12：00）

学術集会　　13：20～16：30

【会　　場】　札幌市立大学大学院棟 1 階 大講義室 （札幌市黄金中央区北 11 条西 13 丁目 1）

＜ 総　　会 ＞ 12：30～13：10

【議　　案】1．報告事項

1）2024 年度 役員会報告

2）2024 年度 事業報告

3）2024 年度 会計報告および会計監査報告

4）2025 年度 定時社員総会報告

5）2024 年度 北海道地方会研究奨励賞選考報告

2．協議事項

1）2025 年度 事業計画案について

2）2025 年度 予算案について

3）役員改正について

4）2025～2026 年度 研究奨励賞選考委員の選出について

5）2026 年度 北海道地方会総会・第 34 回北海道地方会学術集会の開催について

6）その他

3．第 34 回北海道地方会学術集会：並川学術集会長からのご挨拶

2024 年度 研究奨励賞表彰式

＜ 学 術 集 会 ＞ 13：20～16：40

テーマ：看護と介護のほとりに集う ―臨床と教育・研究の融合－

第 33 回 北海道地方会学術集会長 長田 千穂

本年 2025 年は、「2025 年問題」として、地域包括ケア政策推進の一つの目標とされてきた年です。

病気の原因を追究し病気を治す、治療することを目的としてきた「治療医学」の時代「病気の世紀」から、大きな転換が求められています。病気と共存しながら QOL の維持・向上をめざす「治し支える医療」、地域包括ケアシステムの実現が望まれています。医療の機能分化や地域との連携が求められて久しくなりますが、医療・看護が社会の要請に応えられているのかという問いが残っているように感じられます。治し支える医療への転換には、在宅医療の推進が必要と言われています。

慢性期医療ニーズを持つ対象は、医療的ケア児から高齢者まであらゆる世代です。その医療は、基本的には生活の場としての介護施設での対応を含めて在宅医療で十分に対応でき、かつそれが個々の望む生活の場に応えることにつながるであろうことが理解されつつあります。

本学術集会では、それぞれの立場から、これらの課題を検討したいと考えました。さわやかな季節の札幌で是非、皆様のご参加をお待ちしております。

【参　加　費】会員 1,000 円（事前）/1,500 円（当日）、非会員 1,500 円（事前）/2,000 円（当日）
学生　無料(大学院生は含まない)

【プログラム】

基調講演　　13：30～14：30

テーマ　困難を抱える方々を支える医療・福祉・教育・行政等との連携と協働
－子ども在宅ケアネットワークの活動を通して－
演者：御家瀬　真　由（医療法人渓仁会定山渓病院副看護部長）
座長：長　田　千　穂（市立札幌病院地域連携センター部）

パネルディスカッション　　14：40～15：30

テーマ　「地域における多職種連携」
座長：菅　原　美　樹（札幌市立大学看護学部）

・地域連携の新たな一歩となる特定行為実践　　佐藤明代（市立札幌病院　看護部）
・看護－介護等多職種連携を研究に学び、臨床につなぐ　　御家瀬真由（医療法人渓仁会定山渓病院副看護部長）
・多職種連携における看護職の役割　　高橋奈美（札幌市立大学　看護学部）

一般演題（口演発表）　　15：40～16：20
座長：武　富　喜久子（札幌市立大学　看護学部）

【参加申込方法】

参加申込後、指定口座に参加費をお振込みください

参加登録フォーム　https://forms.gle/dE5JVtxqsGnEmrBA9
右の二次元コードからお申込みいただけます。

事前申し込み期間

令和 7 年 4 月 7 日（月）～6 月 20 日（金）
＊当日受付・参加も可能です。

参加費振り込み方法

申し込みフォームよりお申し込み後、以下 1）～3）のようにお振込みをお願い致します。

1）6 月 20 日（金）までに事前参加費を下記口座にお振込みください。
事前参加費：会員 1,000 円、非会員 1,500 円（事前）、学生無料(大学院生は含まない)

銀行名	北海道銀行	支店	桑園支店（支店番号：131）
預金種目	普通口座	口座番号	0061865
口座名義	日本看護研究学会 北海道地方会 学術集会		

＊お振込みにかかる手数料は各自でご負担くださいますようお願い致します。

2）お振込みされる際の依頼人名
必ず参加申し込みフォームに記載したお名前（申し込みされたご本人名）をご記入ください。

3）お振込みの際は、**お名前の前に必ず会員番号を入れて下さい**。
例）0123 サッポロ　ハナコ

2024 年度日本看護研究学会北海道地方会　特別講演会のご報告

令和 7 年 3 月 8 日(土)に「大学教員は生成 AI とどのように向き合えばいいのか？～いまさら聞けない AI の進歩～」と題して、講師に蒔田芳男氏（旭川医科大学病院　遺伝子診療カウンセリング室　教授）をお迎えし開催しました。今回は対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、会員 38 名、非会員 4 名の計 42 名（オンライン参加者は 31 名）の参加がありました。

講演会では、生成 AI の歴史と動向、基本的な仕組み、教育現場での生成 AI の活用方法についてわかりやすくご説明いただきました。特に、事前に配付された事例を基に参加者が実際に生成 AI ツール（ChatGPT など）を操作しながら学ぶハンズオン形式のセッションが設けられたことで、理解が深まったという声が多く寄せられました。

参加者の皆さまからは「生成 AI をもっと学び、実践に役立てたい」「生成 AI をどのように使うか、学生へリテラシーをどのように教えるか、考える機会となった」などのアンケート結果がありました。生成 AI への関心が高まり、今度の課題を検討する有意義な講演会となりました。

北海道地方会研究奨励賞受賞者のお知らせ

2024 年度は論文 1 件、研究発表 2 件の受賞がありました。

【論文】

○小野寺美希子（2022）.COVID-19 に関する仕事経験を通じた看護師の学習プロセス．日本看護研究学会雑誌，45（4），705-724.

【研究発表】

○日野真莉絵，矢野理香（2022）.妊婦看護職における自己管理認識尺度の開発と信頼性・妥当性の検証．日本看護研究学会雑誌，46（3），145.

○和田ゆい，長谷川真澄（2022）.認知症を持つ人と同居する家族介護者の介護負担に関する文献検討．日本看護研究学会雑誌，46（3），226.

なお、研究奨励賞表彰式は、令和 7 年 7 月 19 日に開催される第 33 回北海道地方会学術集会の開始前に行います。